

質問・要望	内容
質問	選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるが、若者の投票率向上のための取り組みは行っているか。
回答	学校における啓発活動を進めている。また18歳になった際にメモリアルカードを発送して、投票することへの意識付けを行っている。議会として市独自の投票率向上の取り組みを行うように市の選挙管理委員会に働きかけている。
質問	国民健康保険に限らず介護保険においても資産割がある。二重に課税するのはおかしいのではないか。
回答	わずかではあるが改善している。議会としても改善に向けて働きかけているし、改めて議会の場において議論すべき課題であると考えている。
質問	競輪行政について教えてほしい。
回答	本場競輪だけではなく他の競輪場で行われているレースの場外販売も行って黒字運営に至っている。毎年1億円を市の予算に繰り入れており、競輪場が開設されて以降、総額で250億円以上を市の予算に繰り入れている。
質問	豊地区等で貯水池を作ったが効果のほどはどうか。
回答	福井豪雨の後は大きな災害は起きていないが十分に効果はあるものと考えている。他の市内各地でも順次整備を進めていく。
質問	議会報告会は市政の広報をするのではなく、議会について説明するべきではないか。
回答	議会のことはもとより、市政全般のことをお伝えするべきと考えている。具体的には3月議会で可決した新年度予算の中で重要と思われるものをお伝えしている。
質問	新年度予算において、経済関連の予算を増やすことはできないか。
回答	商工労働行政というのは国の制度の枠組みの中でしか予算付けができない側面があり、市の単独行政としてはできることが限られている。市民からこのような意見があったことは議会として理事者側に働きかけていく。

質問・要望	内容
質問	議員報酬を上げたのはなぜか。
回答	議員報酬（期末手当）について過去に引き下げたこともある。今回は人事院勧告の状況等を考慮し、妥当な範囲において上げた。
質問	市職員給与が国家公務員や県職員の給与より高いが、予算が不足しているのであれば給与を下げるべきではないか。
回答	職員給与については市長より提案があり、今回議会として妥当であると判断した。
質問	政務活動費は上がっていないのか。
回答	政務活動費の額については変更はない。市の監査の精査において使い方に関して妥当であると判断しても市民オンブズマンが納得いかない場合は裁判になることもある。監査や裁判結果で活動費を返却すべきとなった際は返却を行う。
質問	議会改革特別委員会自体が消滅したが、議員定数削減を今後どのように進めていくのか。
回答	今後も議会運営委員会の中で議論を行っていく。
意見要望	東安居地区には足羽川が流れており水越橋があるが、災害時に水越橋が崩壊した場合には船着き場を使用すると聞いている。ただ、船着き場に泥が溜まり使用できない状態であるため、泥を除去する予算を付けてもらえないか。